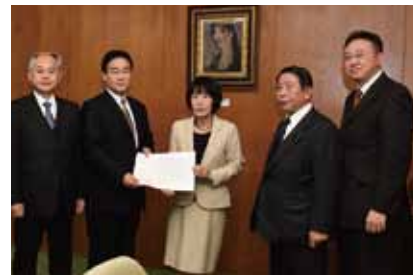


北海道開発予算5年連続増額！

政府の平成29年度予算案の北海道開発予算は前年比0.9%増の5464億円となり、5年連続で前年度当初予算を上回りました。吉田正人道連幹事長は昨年スタートした北海道総合開発計画や夏の台風大雨被害を踏まえ、増額に向けて関係各所と粘り強く交渉し、増額決定の大きな原動力となりました。

平成29年度 道の新年度予算のポイント

| | | |
|----------|--------------------------------------|-----------|
| 少子化・医療福祉 | 医師不足地域の患者を札幌圏に運ぶ医療用小型ジェット機を実用化 | 8000万円 |
| | 要介護高齢者の在宅生活を支える「小規模多機能型居宅介護」などを普及 | 3100万円 |
| | 世界に挑戦する若者を支援する「北海道未来人材応援基金」を創設 | 2100万円 |
| 観光 | 輸出拡大を目指し、道産食品の小口・混載輸送を行い、課題を検証する | 1100万円 |
| | 秋サケ資源回復を目指し、病気に強い稚魚の育成を支援する | 1700万円 |
| 対ロシア交流 | ロシアで開催する見本市に道内企業が出展するなどの日露間協力キックオフ事業 | 4500万円 |
| 産業振興 | 再生可能エネルギーの活用を支援する総額60億円の基金を創設 | 11億9900万円 |
| 防災 | 消防防災ヘリの24時間運用化を目指し、操縦士、整備士を育てる | 2300万円 |
| 交通 | 道内7空港の運営を民間に一括委託する空港民営化に向けた調査 | 1億2800万円 |



道新年度予算に対する申し入れ

自民党道連は1月27日、道の平成29年度当初予算編成に対する申し入れを行い、吉田正人幹事長が高橋はるみ知事に産業活性化や観光振興、子育て支援の充実など13項目を盛り込んだ要望書を提出しました。道が2月17日に発表した総額2兆7534億円の新年度予算案は、申し入れ内容が多数反映されたものとなり、吉田幹事長は「活力ある地域づくりをさらに進めたい」と述べました。

道政報告

吉田幹事長の要望が多数反映！ 新年度道予算総額2兆7500億円

第1回定例道議会 自民党・道民会議代表質問

水産業の振興、日ロ経済活動などで 前向き答弁を多数引き出した自民党

吉田正人道議が所属する道議会自民党・道民会議は3月2日、第1回定例道議会本会議で代表質問を行い、水産業の振興、防災ヘリや地震・津波対策、北方四島における日ロ共同経済活動など、道政上の重要課題を取り上げました。高橋はるみ知事からは前向きな答弁を多数引き出し、各方面からの期待に応える結果となりました。

【質問項目一覧】

1. 知事の政治姿勢について

- (1) 道政執行に臨む姿勢について
- (2) 北海道150年事業について

- (3) 日米経済対話について
- (4) エネルギー政策について
- (5) 地方創生の推進について
- (6) フード特区について
- (7) 観光振興について
- (8) 国際化の推進について

- (9) 国際化の展開方向
- 1. 国際化の友好提携
- 2. ハワイとの友好提携
- 3. パラオ共和国との交流
- (9) 交通政策について
- 1. J.R事業見直し
- 2. J.R上下分離
- 3. 将来ビジョン

- (10) 公共土木施設の維持管理について
- (11) 防災対策について
- (12) 消防防災ヘリについて
- (13) 地震・津波の減災目標について

(14) 北方四島における 共同経済活動について

- (15) 住宅供給公社について
- (16) エコシカ対策について
- 1. 有効活用
- 2. 情報通信技術の導入
- (17) 子ども子育て支援について
- (18) 道立病院事業について
- (19) 高齢者対策について
- (20) 米政策の見直しへの対応について
- (21) 水産業の振興について
- 1. 秋サケ資源対策
- 2. 漁業用燃料対策
- (22) 森林づくりを担う人材の育成・確保

2. 教育問題について

- (1) 教員の資質向上について
- (2) いじめ問題について

3. 公安問題について

- (1) 道民の安全・安心の確保について



二階俊博幹事長と恵庭市の酪農家を視察



河村建夫衆議院議員を招いての「地方創生懇談会」で司会を務める



北海道・東北6県幹事長会議が札幌で開催、座長を務める



道連役員会で幹事長報告



各種団体の皆さんとの政策懇談会